

平成29年度
事業報告

社会福祉法人 仁和会
府中さくらの杜

総 括

平成29年度、利用者の移動については、8月末日に入所施設へ移られ1名が退所され、11月と12月に1名ずつ（計2名）入所いただき、33名の方にご利用いただきました。

平成29年度は、府中さくらの杜開設時の約束でもあります医療的ケアの必要な方の受け入れに向け、他施設の見学や医療的ケアについての自主研修、嚙下研修への参加等を行いました。また医療的ケアの必要な方を受け入れるため、施設内のフローの変更を行い、準備を行いました。

目 次

第 1 章	施設運営の実施状況	2
第 2 章	障害福祉サービス	2
第 3 章	健康管理	4
第 4 章	相談、苦情対応、虐待の防止	5
第 5 章	家族との連携	6
第 6 章	援護の実施者、協力機関との連携	6
第 7 章	職員体制	7
第 8 章	会議・研修等	8
第 9 章	災害対策・事故対応	10

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は平成30年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

- (1) 利用定員 30名
- (2) 利用現員 32名
- (3) 欠員数 0名
- (4) 新規利用者数 2名
- (5) 退所者数 1名
- (6) 長期欠席者数 0名

※府中市 28名、稲城市 1名、多摩市 1名、国立市 1名、立川 1名

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
18～19	0	0	0
20～29	4	9	13
30～39	1	3	4
40～49	0	1	1
50～59	1	2	3
60～69	7	2	9
70以上	0	2	2
計	13	19	32
平均年齢	49.9歳	40歳	44.1歳

(2) 障害支援(程度)区分

程度	男	女	計
区分 1			
区分 2	1	2	3
区分 3	4	3	7
区分 4	5	7	12
区分 5	2	2	4
区分 6	1	5	6
計	13	19	32
平均	3.85	4.26	4.09

(3) 延べ利用日数

程 度	男	女	計
区 分 1			
区 分 2	1 7 9	3 5 7	5 3 6
区 分 3	1,7 8 3	1,3 3 7	3,1 2 0
区 分 4	3,9 4 3	5,5 2 1	9,4 6 4
区 分 5	1,6 4 2. 5	1,6 4 2. 5	3,2 8 5
区 分 6	1,4 0 0	7,0 0 0	8,4 0 0
計	8,9 4 7.5	1 5,8 5 7.5	2 4,8 0 5
平均支援区分	3. 8 5	4.2 6	4.0 9

(4) 日常生活動作

内 容	支援・助言	一部介助	全部介助
食 事 支 援	5	1 1	2
排 泄 支 援	4	5	3
着 脱 衣 支 援	7	5	2
歩 行 支 援	3	4	2
コミュニケーション支援	2 1	5	2
車椅子利用者	1	1	1
おむつ使用者	1	2	2

第 2 章 障害福祉サービス

1、 個別支援計画

個別支援計画は、サービス等利用計画書の作成、モニタリング時期に合わせ、利用者、その家族の要望を聞き取る面談を実施し、目標の達成度や課題を見直して適切な支援ができるようにまたニーズの実現に向けて作成しました。

また可能な限り、サポートにんなの相談支援専門員に同席してもらい、サービス等利用計画の総合的な援助の方針との齟齬がないように努めました。

2、日中活動支援

- 自主製品 ・ ビーズ製品、髪留め、アクリルたわし、ティッシュケース
織物、一閑貼り、組みひも
- 受託作業 ・ いぶしの袋詰め
・ 公園清掃
- 創作活動 ・ 絵画、工作、紙すき、手芸など
- 運動活動 ・ 軽体操、ダンス、運動の日、散歩
- レク活動 ・ 音楽、カラオケ、ゲーム、DVD鑑賞、ドライブ
・ パソコン、調理実習

3、活動による収入と支出

・収入

	28年度	29年度
すずかけ公園清掃	1,311,360	942,840
自主製品イベント販売	129,960	170,740
自主製品委託販売	81,805	137,689
自主製品施設内販売	45,776	63,400
受託（下請け）作業	56,400	26,927
イベント収入	41,880	243,140
合計	1,667,181	1,584,736

・支出

	28年度	29年度
自主製品原材料	159,871	184,653
販売手数料	8,425	14,665
利用者工賃延べ支給額	1,155,450	1,200,300
利用者工賃延べ支給人数	447	436

	～2,000円	～3,000円	～5,000円	5,000円～
年間平均工賃月額	8名	6名	11名	8名

4、日課

9:00~10:00	登園(利用者受け入れ)
10:00~10:30	着替え・体操・朝礼・歌
10:30~11:45	午前の活動
11:45~12:20	午前の作業
11:45~12:20	昼食
12:20~13:00	歯みがき・昼休み
13:00~14:30	午後の作業
14:30~15:00	着替え・夕礼・体操
15:00~15:30	降園準備・送迎
15:30	降園

5、平成29年度 年間実施行事

	行事	日程	29年度担当者
4月	桜まつり	8(土)9(日)	渡邊・井上
5月	農業高校との交流会 軽スポーツ大会	11(木) 20(土)	臼居
6月	総合健診	5(月)6(火)7(水) 9(金)14(水)	長谷川・加藤
7月	寿町納涼盆踊り	29(土)・30 (日)	施設長・井上
8月	商工まつり 夏期特別期間	4(金) 12(金)・15(月)	藤谷 施設長
9月	総合防災訓練 にんな祭 日帰り旅行	5(月) 9(土) 22(金)	施設長 施設長・渡邊・藤谷 臼居
10月	福祉まつり	14(土)15(日)	井上
11月	課外活動	17(木)	臼居
12月	waiwai フェスティバル クリスマス会	9(土)10(日) 16(土)	宇佐美 井上

第 3 章 健康管理

健康管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康管理

(1) 入所時の確認

当施設利用開始に当たり、過去にかかった病気、既往症及び過去に接種した予防注射の確認、緊急時の連絡先など詳細な把握を行いました。

(2) 服薬の確認

年度初めに、服薬の状況を保護者様に確認し、服薬されている方の処方箋等を複写し、緊急時に備えました。

(3) 保健行事

①定期健診

毎月1回（不定期）に嘱託医による定例健康診断、健康相談を実施しました。

②総合健診

年に1回（6月）提携医療機関にて胸部レントゲン、心電図、採血、身長・体重測定、検尿を実施しました。

(4) 日々の視診について

日々の利用者様の体調の把握を行いました。

(5) 衛生習慣の確認

登園時、屋外活動より戻ったとき、手洗いとうがいをを行うよう促しました。

(6) 血圧測定

毎週一回実施し、平常値を把握。状況により嘱託医に相談し、保護者の方へ報告対応しました。

3. 職員の健康管理

① 新規採用者の採用時健康診断および、年1回の定期健康診断を実施しました。

② 健康維持のため、適度な休息をとれる体制をとりました。

③ メンタルヘルスについては、特に気軽に管理者に相談できるような体制を構築しました。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

7月と1月に「法人グッドパーソン規程」に基づきグッドパーソンの方に来園していただき、施設の進捗状況を報告し、食堂にてみんなと一緒に昼食を食べていただきました。昼食後に利用者様または職員に日々の悩みなど聞き取りを実施しました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
くじょうかいけつせきにしや 苦情 解決 責任者	さとう まさのり しせつちよう 佐藤 正教 (施設長)	0 4 2 - 3 5 8 - 1 1 7 0
くじょううけつけたんとうしや 苦情 受付 担当者	わたなべ あきえ しゆにん 渡邊 章江 (主任) ふじや たく しえんいん 藤谷 卓 (支援員)	0 4 2 - 3 5 8 - 1 1 7 0
だいさんしやいん 第 三 者 委 員 (グットパーソン)	いで まさとし さま 井出 政俊 様 たなか まちこ さま 田中 眞知子 様	0 4 2 - 3 6 4 - 0 6 3 7 0 4 2 - 3 6 0 - 1 2 9 4

3. 虐待の防止

平成29年11月、法人全職員に「障害者虐待防止セルフチェックリスト」を実施しました。職員の障害者虐待防止セルフチェックの結果を踏まえ、平成30年2月法人内研修として、白梅学園大学 教授 堀江 まゆみ先生の講師により「虐待防止研修」を法人職員・利用者家族へ実施しました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

昨年度は、年3回実施し、情報を共有しました。(4/15,9/30,2/16)

2. その他

利用者およびご家族が日々の生活を安心して過ごせるように、ご家族と随時連絡帳などを通じて情報を共有して連携を図りました。また困り事などがある場合はその度相談に応じました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の入所、退所に伴う障害福祉サービスの手続き等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. グループホーム「せんげん」との連携

緊急時のバックアップ体制を整えているグループホーム「せんげん」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. サポートにんなどの連携

個別支援計画書作成およびモニタリング報告書の作成のための会議と面談のある時は、可能な限り、相談支援専門員に同席していただき、総合的な援助の方針との齟齬が無いように連携しました。

4. ボランティア、実習生の受入れを積極的に行いました。

(1) ボランティア

- ・毎週、1名のボランティアさんを受入れました。
- ・夏休みの期間には、府中市社会福祉協議会の主催している夏のボランティア体験において中学生・高校生のボランティアを受け入れました。(3名)
- ・府中市内の小中学校の新任の先生、10年目の先生のボランティア研修受け入れをしました。(3名)

(2) 実習生

平成29年度実習生の受け入れはありませんでした。

5. 見学者の受入れ状況

- ・武蔵台学園 や けやきの森学園など支援学校の生徒の見学を受入れました。
(12/1 武蔵台高等部 生徒 22名・教員 10名、12/15 武蔵台学園 保護者 10名、1/17 けやきの森学園中等部 生徒 10名・教員 10名)

※その他、個人的な見学者についても随時受け入れを行いました。

6. 地元町内会との連携

- ・寿町 くらやみ祭手伝い (5/3)
- ・寿町 防災訓練参加 (5/27)
- ・寿町 納涼盆踊り大会参加 (7/29~30)
- ・寿町 自治会防災訓練 (11/11)
- ・寿町 町内会新年会参加 (1/27)

7. 府中市社会福祉協議会との連携

- ・わがまち支えあい協議会への参加
- ・赤い羽根共同募金街頭募金参加
- ・社会貢献ボランティア参加 (府中第一小、府中第二小)

第 7 章 職員体制

1. 採用

- ・大川 恭子 (非常勤・看護師) 2月 1日付
- ・高橋 奈緒子 (常勤・生活支援員) 3月 1日付

2. 退職

- ・宇佐美 隆史 (常勤・生活支援員) 12月31日付
- ・臼居 三樹 (常勤・生活支援員) 3月31日付

第 8 章 会議・研修等

府中さくらの杜の日常の運営、利用者援助、支援に必要な会議および研修等を、下記のとおり実施いたします。

1. 会議

- (1) 職員会議 12回(毎月第3火曜日)
- (2) 保護者会 年3回(4月、9月、2月)
- (3) 管理職会議 毎月第2、最終木曜日等
- (4) 主任会議 12回(毎月第3水曜日等)
- (5) 安全衛生委員会 12回(毎月第3水曜日等)
- (6) 支援員会議 24回(毎月第2・第4火曜日)

2. 研修

(1) 法人内研修

- ・ 6/17 「自己の価値観を見つめる」 (講師 堀井管理者)
- ・ 8/19 摂食研修 (E S P A)
- ・ 9/30 「身近なものを使って作る季節の製作」(講師 宍戸千雅先生)
- ・ 11/18 「職員の観察力を高めるために」(講師 尾林和子先生)
- ・ 2/17 虐待防止研修(講師 白梅学園大学教授 堀江 まゆみ先生)
- ・ 3/17 生活習慣病について(講師 府中医王病院 院長 島田幸男先生)

(2) 外部研修

- ・ 社会福祉法改正説明会(5/19) 1名
- ・ 「労務トラブル」研修(6/16) 1名
- ・ 重度訪問介護従事者養成研修 1名

- ・ けやきの杜学園 摂食研修(8/25) 4名
- ・ 中堅職員研修(8/29,30) 1名
- ・ 相談支援従事者現任研修(8/30,10/3,10/4) 1名
- ・ 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 2名
- ・ 発達障害研修 1名
- ・ サービス管理責任者研修（2/23,3/8,3/9） 1名

(3) 文書研修

法人内委員会等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（OJT=オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第 9 章 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策、訓練及び対応を実施しました。

1. 防火設備等の点検実施 年2回

2. 避難訓練等

以下のとおり防災訓練を実施しました。

	区 分	内 容
5月	自主防災訓練 5/16	1F 厨房より出火想定 参加38名
7月	自主防災訓練 7/14	地震発生により中庭へ避難。 参加36名
9月	自主防災訓練 9/4	防火管理者不在のため実施できず
11月	自主防災訓練 11/10	地震発生により中庭へ避難。 参加37名
1月	自主防災訓練 1/19	2F 倉庫より出火想定 参加37名
3月	自主防災訓練 3/13	地震発生により中庭へ避難。 参加36名

3、その他

今年度、第三者評価の受審を進めてきましたが、準備を年度内に行えず、利用者調査と職員調査のみの受審となってしまいました。